



■展覧会名：コレクション展 2020-II

チェコガラスのレジェンド：リベンスキー&ブリフトヴァ、その門下たち

■会期：2020年12月19日（土）～2021年6月13日（日）

■開場時間：午前9時30分～午後6時 ※入場は閉場の30分前まで
（金・土曜は午後8時まで、12月29日～1月3日は午後5時まで）

■閉場日：第1、第3水曜日、12月31日

※開場時間、閉場日は変更となる場合があります。詳しくは当館ウェブサイト内の「お知らせ」をご確認ください。

■会場：富山市ガラス美術館 4階 展示室4・透ける収蔵庫

■料金：一般・大学生 200円（170円）

※1（ ）内は20名以上の団体。高校生以下無料。

※2 本展の観覧券で6階ガラス・アート・ガーデンもご覧いただけます。

■出品点数：16点

■主催：富山市ガラス美術館（富山市西町5番1号）

■概要

スタニスラフ・リベンスキー（1921-2002）とヤロスラヴァ・ブリフトヴァ（1924-2020）の共同制作によるガラス作品は、自国チェコスロヴァキアはもちろん、第二次世界大戦直後の激動の時代から、世界のグラスアート界において牽引的な役割を果たしてきました。互いに芸術教育を受け、それぞれアーティストとしてのキャリアをスタートしていた2人が出会い、制作を開始したのは1954年のこと。リベンスキーがかたちを描き、ブリフトヴァが粘土成形し、熟練した技術者や職人の協力を得て、鑄造によるガラス作品を完成させる—この制作スタイルは、以後リベンスキーの晩年まで長きにわたり続けられました。確固たる造形力に裏打ちされた彼らのガラス彫刻は、1958年のブリュッセル万国博覧会を皮切りに、様々な国際博覧会で世界的な名声を博し、2人はグラスアートを代表する存在として、多くの国家事業へも参画することとなったのです。

作品の内部に空間を設け、そこに光を当てると、厚みや角度、かたちに応じて、ガラスは多彩なニュアンスを湛えます。この効果を探求した彼らのガラス彫刻は、しばしば「光の彫刻」と称されました。長らくグラスアート界を先導したリベンスキーは、早くから教育者としても活躍していたため、彼に師事した著名作家も少なくありません。その影響は今もなお、世界各地で見ることができるでしょう。

2020年4月、リベンスキーに先立たれていたブリフトヴァも、永遠の眠りにつきました。本展は追悼の意も込めて、コレクションの中からリベンスキーとブリフトヴァの詩的で精神性溢れる共同作品をご紹介します。併せてリベンスキーに師事したチェコ作家の優品を展示いたします。深遠なる光の彫刻と個性に満ちたチェコガラスの数々をどうぞお楽しみください。

【出品作家】

スタニスラフ・リベンスキー&ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ、ヤン・フィシャル、マリアン・カレル、ヴァーツラフ・マハチ、アレシュ・ヴァシーチェク、パヴェル・トルンカ、ウラジミール・クライン、ヤン・エクスナル、ミラン・ハントル、ヤロミール・リパーク、ギゼラ・シャボコヴァー、イジー・ネコヴァーシュ、イヴァナ・シュラムコヴァ

■関連企画**○見どころトーク**

12月26日（土）、1月16日（土）、31日（日）、2月7日（日）、27日（土）、
3月13日（土）、28日（日） 各回午後2時より

- ・会場：富山市ガラス美術館2階 会議室1・2
- ・定員：先着17名程度

※事前申し込みは不要です。直接会場にお越しください。

※参加料無料。ただし参加には本展または企画展の観覧券が必要です。

◎関連プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。最新の情報は当館ウェブサイトをご確認ください。

■広報用画像の貸出しについて

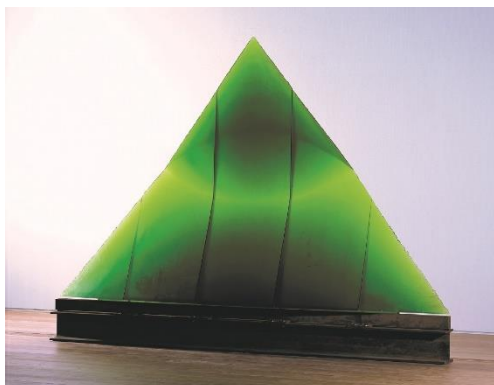
p.4の画像1～5を広報用に貸出しいたします。

ご希望の方は、p.5の画像貸出し申請書の使用条件をご確認いただき

E メールかFAXにて富山市ガラス美術館広報担当へ申請書をお送りください。

E-mail：bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp FAX：076-461-3310

■出品作品



1.スタニスラフ・リベンスキー&ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 《ピラミッドの緑の眼》1993-95 年
富山市ガラス美術館蔵 撮影：斎城卓



2.スタニスラフ・リベンスキー&ヤロスラヴァ・ブリフトヴァ 《Leaning》2000 年
富山市ガラス美術館蔵 撮影：斎城卓



3.ギゼラ・シャボコヴァー 《スタビリティ》
1995 年 富山市ガラス美術館蔵 撮影：室澤敏晴



4.アレシュ・ヴァシーチェク 《Nukleus》1997 年
富山市ガラス美術館蔵 撮影：室澤敏晴



5.イジー・ネコヴァーシュ 《バロックガードⅡ》
2002 年 富山市ガラス美術館蔵 撮影：斎城卓

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者：

T e l : F a x :

E - m a i l :

住所：

団体名：

富山市ガラス美術館 画像貸し出し申請書

次のとおり、掲載用素材として

「コレクション展 2020-Ⅱ チェコガラスのレジェンド：リベンスキー&ブリフトヴァ、その門下たち」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名：

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ ）

3. 掲載の趣旨

別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時：

5. ご希望の画像番号：

○作品に文字やほかのイメージを重ねることはできません。キャプション等の文字が写真にかぶらないようご配慮をお願いします。また、縦横比の変更やトリミングはご遠慮ください。

○作品掲出には指定するキャプションを必ず入れてください。

○作品画像の2次使用はご遠慮ください。

※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。また、画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。

○商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。

○校正グラの段階で情報の確認をさせていただきます。

○記事が掲載された場合はDVD、掲載紙、誌を一部ご寄贈いただきますようお願いいたします。

申請書送付先：富山市ガラス美術館広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310